

令和7年度第1回豊中市地域包括支援センター運営協議会議事録

令和7年(2025年)6月10日(火)14:00~15:15

地域共生センター西館 第3・4会議室

□出席状況(豊中市地域包括支援センター運営協議会委員総数5名中4名出席)

委員	: ◎秦委員 東委員 田代委員 加島委員
事務局	: 福祉部: 坂口次長 長寿安心課: 森本課長、野田主幹、島田課長補佐、時副主幹兼相談支援係長、岡部副主幹、長坂主査、竹島主査、藤井、貴志 長寿社会政策課: 堂本課長、高木係長 健康推進課: 徳山課長、前川係長

(◎=会長 委員名簿順)

□傍聴者: なし

□議題

1. 令和6年度地域包括支援センター事業報告及び
令和7年度地域包括支援センター事業計画について
2. 令和6年度認知症初期集中支援チーム事業報告及び
令和7年度認知症初期集中支援チーム事業計画について
3. 令和7年度地域包括支援センター評価のてびきについて
4. 豊中市地域包括支援センター運営基本方針について
5. その他

□議事内容

議題1 令和6年度地域包括支援センター事業報告及び令和7年度地域包括支援センター事業計画について

事務局 <資料1~資料4の説明>
<質疑・意見交換>

会長 介護予防ケアマネジメント業務の件数、棒グラフを見させていただいて、大体要支援者、要介護認定の人の数と一致している感じがしています。そういった意味では、相談のほかにも、介護報酬、あるいは総合事業の対応も、それぞれの包括さんきちんとされているという第一印象でした。特に、千里包括さんの収支のプラスが突出して多いわけですが、要支援の認定者数で見れば、千里の地域は多いですし、職員は定数どおりいらっしゃるとはいえ、すごくよく頑張っておられると思います。

ケアプラン数と、実際の収支の額を見ておきますと、はっきりと相関関係があるとはいえませんが、あえて言うと、ケアプランの件数の多いところは収支がプラスにな

っている傾向にあり、少ないところは、収支がマイナス傾向にあるという印象は受けます。介護報酬の金額が収支に大きく影響を与えるのではないかと考えています。

ケアプランの件数、資料の2-1の介護予防ケアマネジメント業務件数累計で、令和6年度の緑地包括さんのケアマネジメントの件数が少ないかなと思いますが、エリアの中の要支援認定者数が少ないということでしょうか。

事務局 令和6年度の地域包括支援センターの運営状況の1ページをご覧くださいますと、要支援認定の合計数がございますが、緑地は1,002名で、包括全体の中でも少ない圏域です。

会 長 職員配置状況で、庄内さんのところの保健師あるいは在宅の訪問介護の経験のある看護師さん等の数が少し苦戦されているのかなというふうな感じも受けるんですけども、そのあたりは見通しとしたらいかがでしょうか。

事務局 庄内包括の運営法人でも随時職員募集をしておられますが、昨今の人材不足もございまして、今のところ応募がない状況です。市としてもHPを活用し職員募集の支援を行っております。

会 長 庄内包括の隣のエリアはどの包括になりますか。

事務局 服部包括と緑地包括になります。

会 長 相談体制構築における実務的な応援みたいなことも将来的には視野に入ってくる感じもいたします。いわゆる柔軟化のところですね。

議題2 令和6年度認知症初期集中支援チーム事業報告及び令和7年度認知症初期集中支援チーム事業計画について

事務局 <資料5の説明>

<質疑・意見交換>

会 長 豊中市の場合は、ドクターも訪問されるということで、大きな強みでもあります。ただ、昨年度訪問はなかったということですね。3ページのチーム員会議につきましては、令和6年度、19回開催され、多く開催されていると思います。訪問が初回だけでも58件もあり、訪問の後、ドクターを交えての話し合い、会議みたいなものがあるかと思いますが、回数や、動きみたいなのがあまり見えなくて、ある程度何件かまとめてされてるのか、それがさらにまとまってチーム員会議になるのか、イコールチーム員会議になるのか、そのあたり何か全体が見えるような形でご説明いただきたいと思っています。

事務局 チーム員会議は、基本的には定例開催で、ケースその都度というわけではなく、昨年度途中から月1回に変更しました。それまでは2週間に1回の開催でした。

会長 このチーム員会議が、いわゆる認知症初期集中支援チームのフローの中での訪問したメンバーと、ドクターとの話合いとイコールになるわけですね。

事務局 そのとおりです。

会長 1回当たり、平均で言うと、2・3ケースぐらいになりますか。

事務局 出席させていただいているときは、多いときは15件くらい報告がありました。

秦会長 継続ケースがあるわけですね。

事務局 そのとおりです。新規ケースは、平均3・4件です。

会長 4ページの引継ぎ先医療機関で、精神科A病院とその他精神科となっていますが、分けている意味はどういうことでしょうか。

事務局 日ごろから連携している主な病院で精神科のA病院があります。

会長 専門医の医師がいるのですか。

事務局 そのとおりです。A病院とそれ以外とで分けています。

会長 分ける意味はどういうことですか。

事務局 認知症初期集中支援チームの運営母体であるため精神科A病院と連携しやすいということで、精神科A病院とその他の精神科病院と分けて集計しております。精神科A病院以外の精神科病院へも2件入院につないでいます。

分かりにくいようであれば精神科病院・一般科病院、各々入院・通院でまとめさせていただいてご報告させていただいてよろしいでしょうか。

会長 どちらがいいか分かりませんが、認知症の初期、軽度、どちらに集中的に最初に関わるみたいところで、引継ぎ先というか、送致先、つないだ先という、そういう意味でしょうか。入院が2件、2件、4件というのは、実態が分からず申し訳ないですが、入院が多いと率直に思いました。そういう意味では必ずしも認知症の初期の方だけではないと想像しますが、そのあたりはいかがですか。

事務局 「最近〇〇の状態が心配」という相談には、「こういう医療機関に行ったらいいですよ」と対応することも多々ありますが、地域包括支援センターや関係機関から入る相談では、かなり病状が進行した状態で、どうアセスメントをしていったらいいかとか、かなり状態が悪くなっているが、関わる方がいらっしゃらないなどの相談もあり、そういったケースを医療機関につないだ結果、入院になることもあり、病状が初期段階ではないケースも担わざるをえないものです。

議題3 令和7年度地域包括支援センター評価のてびきについて

事務局 <資料5の説明>
<質疑・意見交換>

会 長 事業ごとに基本的には合わせていただいていると思います。

議題4 豊中市地域包括支援センター運営基本方針について

事務局 <資料6の説明>
<質疑・意見交換>

会 長 資料7-1の「切れ目なく」の目が漢字になっていて、大阪府内のある自治体では漢字は使わないということで、豊中市さんではルールはないんですね。「鑑み」とかは、逆に平仮名になりますね。

事務局 平仮名と漢字の使いわけにつきましては、確認いたします。

会 長 議題3の評価のてびきのところで「活かす」だったと思いますが、常用漢字ではないと思います。このままでいいと思いますが、お伝えしておきます。

事務局 ご指摘ありがとうございます。

議題5 その他

事務局 次第にも記載させていただいておりますが、今年度の運営協議会の日程につきまして、臨時にご審議いただく案件がなければ、第2回の会議は令和8年2月17日火曜日午後2時からの予定でございます。開催時期が近づけば、改めてご案内を差し上げますので、よろしくお願い申し上げます。

会 長 市で事前に丁寧に資料をまとめていただいているので、包括の状況はよくわかります。一方で可能であれば地域包括の方に、全箇所というわけにはいかないと思いますの

で、1か所、1職種だけでもいいと思いますが、出席していただいて、こんな取り組みをしていてこんな成果が出ています、あるいは困っていますなどの話をしてもらえればと考えております。さきほども事業計画書のところで一人ケアマネの課題などの説明がありましたが、ケアマネの高齢化など、現場で接している包括の職員にお話しをお聞きできればと思います。

包括としても、業務負担を改善しようと思っても、介護予防支援の仕組みそのものの課題があると思います。たとえば委託する場合、受託するケアマネジャーさんがなかなか見つからない。包括の努力だけではどうしようもないこともあります。そのへんの生の声を少し聞かせていただいて、本運営協議会と情報共有いただくことができればと思っています。無理のない範囲で可能であれば。他の自治体では出席されているところもあります。検討してもらえればと考えています。

事務局

おっしゃるとおり、先ほどご説明した事業計画書なども、包括から提出のあった内容を要約してお伝えしていますので、事務局からご説明するよりも現場で活動している包括の職員の方のお声を聞いていただくことで、苦勞されていることなど、より身近に感じていただけたと思います。包括職員の出席について、検討してまいりたいと思います。